

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
地理歴史 世界史B	5	3年 普通科	選択G	詳説世界史B (山川出版社)	最新世界史図説外 ストーリー(帝国書院) 詳説世界史スタンダー ドテスト(山川出版社)

学習目標	<p>1. 世界の歴史への興味・関心を高め、主体的に探求していく態度を養う。</p> <p>2. 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。</p> <p>3. 日本を含む諸地域世界の交流を学習することで、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p> <p>4. 現代社会が直面する諸課題について、主体的な追究を通して認識を深め、自覚を以って向き合う態度を養う。</p>
主な学習内容	<p>●アジアの繁栄と近世以降のヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の交流と結合が一層進んだことを把握し、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化と社会の変容が促されたことを理解する。</p> <p>●科学技術の発達や生産力の向上を背景に、現代世界は地球規模で一体化し、様々な対立と衝突を経ながらも、相互依存を強めたことを理解する。また、戦争と国際協調、科学技術と現代文明などの観点から20世紀の歴史の特質を考察する。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・理解」…教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ることができるか。</p> <p>「思考・判断・表現」…教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめることができるか。</p> <p>「資料活用の技能」…教科書や資料集等から情報を正確に読み取ることができるか。</p> <p>「関心・意欲・態度」…積極的に授業に参加しているか。科目に対して、自学学習などを行っているか。</p>
評価の方法	<p>「知識・理解」…定期考査や小テスト等で適確に理解しているかを評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」…グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p> <p>「資料活用の技能」…レポートの提出等を通して情報を正確に読み取ることができるかを評価する。</p> <p>「関心・意欲・態度」…定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	内容
1 学期	<p>●アジア諸地域の繁栄(東アジア世界の動向、清代の中国と隣接諸地域、トルコ・イラン世界の展開、ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展)</p> <p>●近世ヨーロッパ世界の形成(ヨーロッパ世界の拡大、ルネサンス、宗教改革、ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成)</p> <p>●近世ヨーロッパ世界の展開(重商主義と啓蒙専制主義、ヨーロッパ諸国の海外進出、17～18世紀のヨーロッパ文化と社会)</p> <p>●近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立(産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命とナポレオン)</p>
2 学期	<p>●欧米における近代国民国家の発展(ウィーン体制の成立、ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生、南北アメリカの発展、19世紀欧米の文化)</p> <p>●アジア諸地域の動揺(オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容、南アジア・東南アジアの植民地化、東アジアの激動)</p> <p>●帝国主義とアジアの民族運動(帝国主義と列強の展開、世界分割と列強対立、アジア諸国の改革と民族運動)</p> <p>●二つの世界大戦(第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動、世界恐慌とファシズム諸国の侵略、第二次世界大戦)</p>
3 学期	<p>●冷戦と第三世界の独立(戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立、米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興、第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り、石油危機と世界経済の再編)</p> <p>●現在の世界(社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展、途上国の民主化と独裁政権の動揺、地域紛争の激化と深刻化する貧困、現代文明の諸特徴)</p>

備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>全範囲について、基本的な事項から始めていきます。資料を利用しながら、難しい語句や単語についても理解を深めるように配慮します。国際社会を生きる上での幅広い教養を身に付けるように意識して取り組んで下さい。教科書・資料集問題集・プリント・ノートを忘れずに毎回用意して下さい。2年次の世界史の続きを学習するため、2年次に世界史Bを履修していることが望ましい。</p>
-------------------------------------	--